

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 若林 隆久	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
(1) 研究	
① 研究成果	
2014 年度（平成 26 年度）の研究成果は下記の通りである。	
【論文など】	
1. Katsumata, S. & Wakabayashi, T. (2014) Loyalty Program Point Exchange Networks and their impact on Marketing Performance, 長崎大学経済学部ディスカッション・ペーパー・シリーズ 2014-06, 長崎大学経済学部 東南アジア研究所.	
2. 高橋一恵・若林隆久 (2015)「音楽教育におけるキャリア形成と教育理念：専門分野におけるキャリア教育のあり方の探索」(高崎経済大学地域政策学会ディスカッション・ペーパー・シリーズ 2014-06), 高崎経済大学地域政策学会.	
【口頭発表など】	
3. 若林隆久 (2014)「ワークプレイスについて社会ネットワーク分析が明らかにできること：実際の研究事例に基づいて」第 3 回ワークプレイス／ワークスタイル研究会, 東京：筑波大学茗荷谷キャンパス. (2014 年 4 月 25 日)	
② 第 5 回リンダウ・ノーベル賞受賞者会議（経済学分野）参加	
これまでの研究業績が認められ、日本学術振興会のリンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業の推薦を受けて、リンダウ・ノーベル賞受賞者会議基金が主催する「第 5 回リンダウ・ノーベル賞受賞者会議（経済学分野）」（8 月 19 日～8 月 23 日）の出席者として選ばれ出席した。	
③ 科学研究費助成事業・研究活動スタート支援の採択	
科学研究費助成事業・研究活動スタート支援に課題番号 26885061「職場におけるネットワークがパフォーマンスに与える影響およびそのメカニズムの解明」（2014 年度～2015 年度、代表者：若林隆久）が採択された (http://kaken.nii.ac.jp/d/p/26885061.ja.html)。	
④「組織におけるキャリアとワークスタイル」研究会の立ち上げ・開催	
研究教育活動の一環として「組織におけるキャリアとワークスタイル」研究会を 12 月に立ち上げた。12 月 10 日に高崎経済大学地域政策学会「学生向け学習・研究支援プログラム助成」の助成を受けて第 1 回の研究会を開催した【研究成果 2】。	
(2) 教育	
① 講義	
前期には「初年次ゼミ」（3 クラス）と「経営学」の講義を担当した。後期には当初から予定されていた「経営分析／財務諸表分析」、「初年次ゼミ／日本語論文指導（再履修クラス）」、「グループ研究Ⅰ（「働くこと」を考える）」、の 3 つの講義に加えて、12 月途中より「産業立地論」の講義を代講した。「経営分析／財務諸表分析」では、「教職員による講義聴講・意見交換」で授業を公開した。「グループ研究Ⅰ」では、少人数であることを活かして対話型の講義を行うと同時に、何度か外部講師を招聘して講義を行った。	

② 演習

来年度の演習Ⅰ生を対象として後期に毎週プレゼミを実施した。具体的な内容としては、教科書『コア・テキスト 経営学入門』（高橋伸夫著、2007年、新世社）の輪読、ゼミ生によるゼミの運営および懇親、実務家インタビュー（12月10日「組織におけるキャリアとワークスタイル」研究会）、株式会社原田・ガトーフェスタ ハラダの本社工場見学（3月31日）、来年度に実施される予定の「まえばし企業魅力発掘プロジェクト」の事前説明会（3月13日）への参加および参加検討、などを行った。

③ その他

三扇祭期間中の11月1日（土）に開催された第3回地域政策学部プレゼンテーション大会の審査員を務めた。

（3）社会における活動

① 岡田商事社内大学講師

岡田商事株式会社の社内研修である2014年度岡田商事社内大学において、11月27日・12月11日・1月29日の三日間に渡って「組織変革」の講義を担当した。

② 前橋南高校における出前授業

群馬県立前橋南高等学校における大学出張講義にて「経営学の考え方と地域社会への活用」という講義を行った（2014年12月4日）。

③ ラジオ高崎 ラジオゼミナールへの出演

大学の地域貢献事業の一環であるラジオ高崎のラジオゼミナールに出演し、「ネットワーク組織論とは」（2015年1月31日土曜日9時15分～、再放送：2015年2月3日火曜日19時～）と「ネットワーク組織論：職場における支援と学習」（2015年2月7日土曜日9時15分～、再放送：2015年2月10日火曜日19時～）という2回を担当した。

2 その他の事項

- 日本デジタルゲーム学会に入会し、新たに立ち上げられるオンラインゲーム SIG (Special Interest Group) に参加した。
- 経営研究所が開催する“人材開発と組織”研究会、東京大学ものづくり経営研究センターのものづくり経営研究コンソーシアム、筑波大学稲水伸行准教授が主宰するワークプレイス／ワークスタイル研究会、Fashion Studies が開催する各種研究会・セミナーなどの各種研究会に参加し、実務家や研究者との情報交換・ディスカッションを行った【研究成果3】。

3 次年度以降の計画・抱負

研究面では、来年度も継続する科学研究費補助金・研究活動スタート支援を中心に研究活動およびアウトリーチ活動を行い、積極的に研究成果を発信していくことを目指す。

教育面では、着任初年度である本年度に作成した各講義の内容を基に改善を加えていくことで、より質の高い講義内容を目指す。特に、来年度から正式に開始する演習においては、単に教科書の輪読を行うだけではなく、ゼミ生による自主的なゼミの運営、工場見学や実務家インタビューといったフィールドワーク、「まえばし企業魅力発掘プロジェクト」への参加を通じた課題解決型学習など、多様な活動を行っていく予定である。